

空知教育センター課題研究 中間報告

「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方

(平成30～31年度 2年研究1年次)

【研究主題】「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方
～自己の学びを振り返り、次につなげる学習評価の充実～

【研究の経緯】

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

主体的な学び・・・学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、**見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる**「主体的な学び」が実現できているか。



どうやって振り返らせたい？

振り返りの時間がとれない...



こんなことはありませんか？

授業（単元）の中で、児童生徒が課題解決の見通しをもち、個人や他者と協働して課題解決に向かい、学びを振り返る授業づくりを目指します。児童生徒が学習の有用性を感じ、次の学びへと向かっていけるような授業の在り方を空知管内の先生方に提案できるよう、検証・研究を行っています。

【目指す子ども像】

- 自己の学びの状況を把握し、振り返ったことを次の学びへつなげる意欲をもつ子ども
- 学んだことを進んで活用し、自らの生活に生かそうとする子ども

【研究仮説】

- 子どもたちが自らの学びを振り返ることで、学びへの興味や関心を広げ、主体的に学習に取り組むことができる。
- 身についたことを意識して活用することで、思考力・判断力・表現力を高めることができる。

学習の見通しをもたせる

協働的な学びで深める

振り返って次につなげる



今日は〇〇がわかった！

疑問が生まれたから調べてみたい！

【1年次の課題研究委員会の主な取り組み】

理論研修

- 見通しや振り返りに関わる実態交流や理論研修

ミ二道研

- 課題研究協力員による授業づくりの講義・演習

視察研修

- 北海道教育大学附属小中学校（札幌小・中、函館中）の公開研究会への参加

検証授業

- 模擬授業による指導案検討
- 上砂川町立中央小学校での研究授業（次頁参照）

実践交流

- 課題研究協力員による、見通し、振り返りを位置づけた授業実践
- 成果や課題の交流

検証授業（平成30年10月4日（木） 上砂川町立中央小学校4年1組 授業者 戸井一貴）

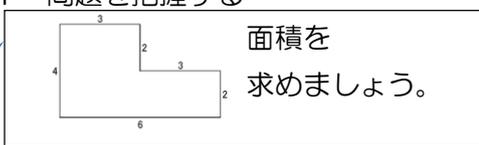
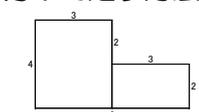
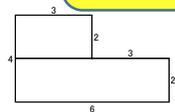
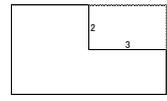
(1) 本時の目標

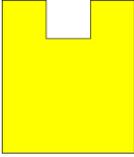
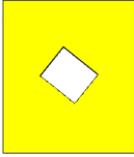
長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、図や式、言葉等を使って考え説明する。(数学的な考え方)

(2) 本時の展開

学習の流れをパターン化させ、
1 単位時間の見通しをもたせる工夫

見通しをもたせるための
問題提示の工夫

学習の流れをパターン化させ、 1 単位時間の見通しをもたせる工夫	児童(生徒)の学習活動	教師の手立て	評価の規準・方法 留意点
<p>導入 問題提示</p> <p>課題把握 課題提示</p>	<p>1 問題を把握する</p>  <p>面積を求めましょう。</p> <p>2 課題を把握する</p> <p>複雑な図形の面積の求め方を考えて説明しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ図形を提示し興味を引き付けると共に長方形が見えるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 少しずつ図形を提示し、既習である長方形を使えるという見通しを持たせる。 □ 既習事項への振り返り。
<p>自力解決</p>	<p>3 自力解決</p> <p>① 分けて足す方法</p>  $4 \times 3 + 2 \times 3 = 18$  $2 \times 3 + 2 \times 6 = 18$ <p>② あると考えると引く方法</p>  $4 \times 6 - 2 \times 3 = 18$ <p>考え方の方向性が定まらない児童に対しては①の方法をすすめる。</p>	<p>既習事項への小刻みな振り返り</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>数学的な考え方</p> <p><評価方法> 観察・ノート</p> <p><評価規準> 長方形の面積を求める公式をもとに、複合同形の面積の求め方を考えている。</p>
<p>グループ活動</p>	<p>4 グループ活動</p> <p>それぞれの式を見て、どんな考え方をしたのかグループで話し合ひましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 式だけを板書し、出てきた式からどのように考えたのかグループで話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 小グループでの協働的な学び
<p>展開(課題解決)</p> <p>集団解決</p>	<p>5 集団解決</p> <p>式と図を結びつけながら考え方を確認していきましょう。</p> <p>「この式は図形を縦に分けて2つの長方形に分けて考えている。」</p> <p>「足すのはわかるけど、引くのがわからないな。」</p> <p>出てきた考え方の共通点を見つけて仲間分けしましょう。</p> <p>「〇〇さんと〇〇さんの考え方は、2つとも分けているから“分けて足す”のが共通点だよ。」</p> <p>「〇〇さんの考え方は、“あると考えるとあとから引く”かな。」</p> <p>出てきた考え方を1つ選んでペアで説明し合ひましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの言葉をつなぎながら式と図形を結びつけていく。 ・子どもの言葉でラベリングしていく。 	<p>学習活動の工夫</p>

<p>まとめ</p>	<p>6 まとめ</p> <p>長方形をもとにすると公式を使って面積を求めることができる。</p>	<p>【評価の観点】 数学的な考え方 〈評価方法〉 観察・ノート・発言</p>
<p>適応問題</p>	<p>7 適応問題</p> <p>面積を求めましょう。(選択)</p> <p>①  ② </p>	<p>・どちらかを選択させる。 ・問題によって使える方法が違うことを確認する。</p> <p>振り返りの工夫</p>
<p>振り返り</p>	<p>8 振り返り</p> <p>今日の自分で考えたことや仲間の考えから学んだことを振り返ってノートにまとめましょう。</p>	<p>〈評価規準〉 長方形・正方形の面積を求める公式をもとに、複合図形の面積の求め方を考えている。</p> <p>□ 1 単位時間の思考の振り返り</p>

〈児童のノートより〉

今回の問題は、階段の形の求め方で、わたしはあったことにしてひく方法にしました。ないところをあることにして後からひくやり方です。でも他に、分けてたすやり方があり、わたしはそのやり方が思いつかなかったのですごくと思いました。

他の方法にも気づいた振り返り

次時への意欲につながる振り返り

分けてたすと、あったことにしてひくやり方を、もう少し使えたらいいです。

自分の変容に気づいた振り返り

今日は、最初、階段みたいな形の問題が出て、最初はちょっとわからなかったけれど、最後になるうちにわかってきました。



【主な成果】

- 問題や課題の提示の仕方を工夫することで、見通しをもつことにつながった。
- 振り返りを書くことを継続させることで、ポイントをおさえた振り返りができるようになってきた。
- 振り返りを授業の終末に位置付けることで自己評価がしやすい。 等

【主な課題】

- 見通しの目的を明確にする。
- 学習過程を可視化し、学習課題を解決する見通しの工夫が必要である。
- 振り返る時間を確保する必要がある（タイムマネジメント）。
- 振り返りの視点の与え方について考える必要がある。 等

【研究の方向性】

- 適切な見通しのもたせ方（活動の流れ、解決の手順、答えなど）を選択し、位置付ける。
- 振り返りの場面を授業の終末に位置付ける。
- 記述による振り返りを行う。

※成果についても実践検証を通して、さらに深化させる。

発刊にあたって

情報化やグローバル化等の社会的変化が加速度的に進展する現代社会において、未来を生きる子どもたちには、主体的に判断し、他者や社会と関わりながら課題を解決していくための力の育成が求められています。

平成29年3月に改訂された学習指導要領では、「何を学ぶか」ととどまらず、「なぜ学ぶのか」「どのように学ぶか」「学んだ結果、何ができるようになるのか」を重視する内容となっており、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の充実が重要となっています。

このため、空知教育センターでは、今年度から、「『確かな学力』の育成を図る学習指導の在り方～自己の学びを振り返り、次につなげる学習評価の充実～」を研究主題と設定した2か年の研究をスタートさせました。

また、研究推進にあたっては、管内小中学校からご推薦いただいた意欲的な6名の課題研究協力員と担当所員により、「空知教育センター課題研究委員会」を組織し、研究実践を進めてまいりました。

1年目の今年度は、資料の収集と読み込み、先進地視察や研修会参加、そして、委員による話し合いこそ最重要として研究を進め、10月には課題研究委員会の論議や考え方を取り入れた授業を公開したところです。

このたび、1年間の理論研究や検証授業、分析結果、考察や課題などの取組を中間のまとめとしましたが、各学校の校内研修に、また、日々の実践の参考資料としていただければ幸いです。

結びに、本研究推進に当たりまして、意欲的・献身的に取り組まれた課題研究協力員の皆様、ご指導・ご助言をいただきました北海道教育庁空知教育局をはじめ関係市町教育委員会、各学校の皆様にご心より感謝とお礼を申しあげ、発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

平成31年3月

空知教育センター所長 岩田 稔

平成30年度 空知教育センター 「確かな学力」課題研究委員会の構成員紹介

委員長	陰山 保	教諭	滝川市立東小学校
副委員長	横山 貴光	教諭	滝川市立開西中学校
委員	丹那 里織	教諭	砂川市立砂川小学校
//	土山 浩司	教諭	砂川市立石山中学校
//	戸井 一貴	教諭	上砂川町立中央小学校
//	老松 謙	教諭	深川市立深川中学校
担当所員	高山 幸	所員	滝川市立江部乙中学校
//	渡部 由佳	所員	芦別市立芦別小学校



「検証授業」模擬授業の様子

空知教育センター課題研究 「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方 中間報告

発行日 平成31年 3月
発行者 空知教育センター所長
所在地 滝川市文京町4丁目1番1号
TEL 0125-22-1371
FAX 0125-22-1372
Eメール kyosen@sorachi-ed.jp
URL <http://sorachi-ed.jp/>

平成31年度も検証授業を行います。日程等の詳細は、空知教育センターHP等でお知らせしますので、多数の参観をお待ちしております。



空知教育センター

検索

